

創立記念日について

各学校には創立記念日が定められています。竜ヶ崎第二高等学校の創立記念日は5月10日です。創立記念日として定められた経緯は次のとおりです。

大正5年に龍ヶ崎町立龍ヶ崎女子技芸学校として創設された本校は、大正8年4月に龍ヶ崎町立実科高等女学校として開校し、5月9日に選抜試験を実施し、翌5月10日に町立実科高等女学校第1回入学式が挙行されました。入学者総数は143名で、この5月10日が本校の創立記念日として定められました。大正10年には稲敷郡立龍ヶ崎実科高等女学校となり、大正12年に茨城県立龍ヶ崎実科高等女学校となりました。

大正14年には実用的教科目に重点をおいた実科から高等普通教育を行う本科への昇格に着手し、大正15年4月1日に茨城県立龍ヶ崎高等女学校と改称しました。太平洋戦争の時期を経て、教育基本法、学校教育法の公布による新制高等学校が昭和23年に発足し、県立龍ヶ崎女子高等学校としての1年間を経たうえで、昭和24年に全日制普通科、商業科、家庭科からなる総合高校として県立龍ヶ崎第二高等学校が新入生を迎えました。その後、家庭科は家政科(昭和38年)を経て人間文化科(平成16年)となりました。商業科も平成16年から平成21年はビジネスマネジメント科と情報コミュニケーション科の時代がありました。

なお、公文書では常用漢字を使うという県の文書管理規定があるため、現在は県立竜ヶ崎第二高等学校が正式表記になっています。

本校の歴史を振り返ると、県立竜ヶ崎第二高等学校として落ち着く前は、いろいろと地域の皆様のご尽力があったことがわかります。町立実科高等女学校の最初の入学者の選抜が5月9日に実施され、その翌日には入学式が挙行されていたという流れは現在では想像もつきません。いずれにせよ、大正5年創設の町立龍ヶ崎女子技芸学校が本校の源流ですが、創立記念日に関しては、3年後の大正8年に定められました。地域の皆様の期待に応えられる竜ヶ崎二高であり続けられますよう、職員一同取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。